

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月30日

計画の名称	次世代へつなぐ井原の水環境（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	井原市												
計画の目標	計画的な浸水対策・耐震化を実施し、良好な水環境を次世代へつなぐ。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	420	A	420	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	都市浸水対策達成率を95.4%（H30）から96.7%（H33）へ増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	95%	96%	97%
2	耐震化を実施していない重要施設（浄化センター：管理棟）の地震対策を0%（H30）から100%（H33）へ増加させる。 処理区における地震対策実施率（重要施設） 地震対策済み処理区数（重要施設：箇所） / 地震対策が必要な処理区数（重要施設：箇所）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	井原市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業(東江原排水区)	雨水管 1,100~1,500 L = 800m	井原市						395	-	
	A07-002	下水道	一般	井原市	直接	-	終末処理場	改築	地震対策事業(井原浄化センター)	地震対策(管理棟躯体補強)	井原市						17	-	
	A07-003	下水道	一般	井原市	直接	-	終末処理場	改築	地震対策事業(井原浄化センター)	地震対策(管理棟躯体補強)調査・設計	井原市						8	-	
												小計						420	
												合計							420

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 井原市下水道課において実施	事後評価の実施時期 令和4年9月
	公表の方法 井原市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な浸水対策、地震対策を実施することで、良好な水環境を次世代へつなぐために災害対策を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も優先度の高い箇所から計画的に浸水対策、地震対策を図り、良好な水環境を次世代へつないでいく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	97%
	最終実績値	97%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%